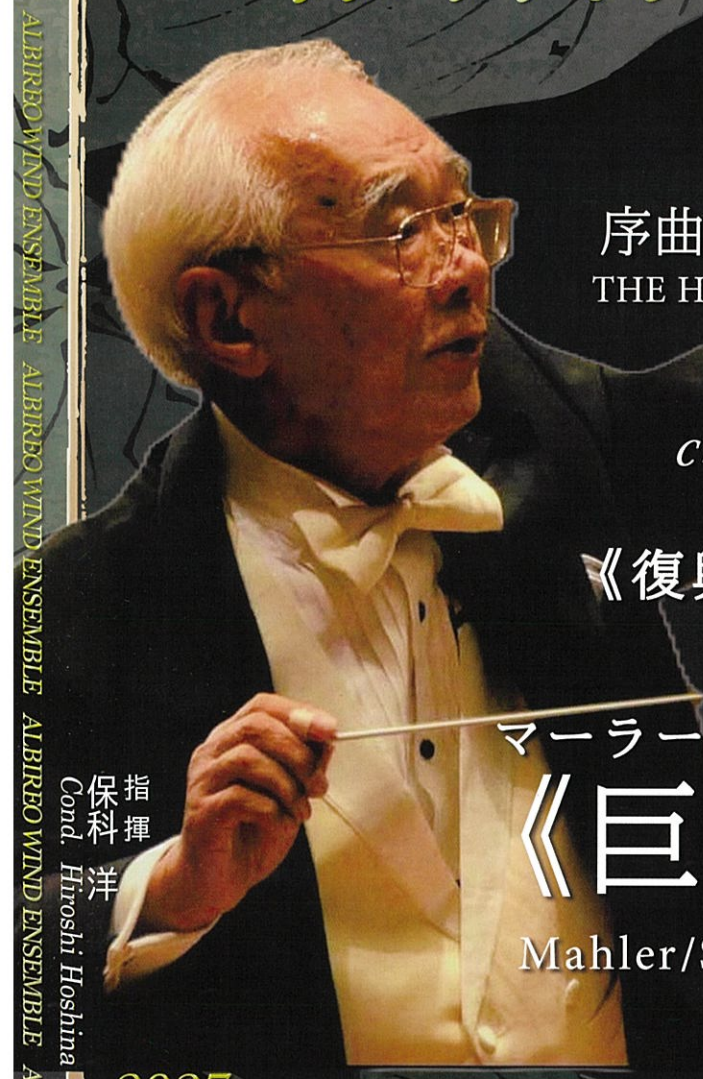
ALBIREO WIND ENSEMBLE ALBIREO WIND ENSEMBLE ALBIREO WIND ENSEMBLE ALBIREO WIND ENSEMBLE

アルビレオ ウィンドアンサンブル
第12回 演奏会

保科洋の世界 XII



指揮 保科 洋
Cond. Hiroshi Hoshina

序曲「春の猟犬」
THE HOUNDS OF SPRING *A Concert Overture for Winds*
アルフレッド・リード

Choral "Platanus" for Wind Orchestra
保科 洋

《復興》 *The Rebirth for Symphonic Band*
保科 洋

マーラー / 交響曲第1番
《巨人》 より 第3楽章・第4楽章
Mahler/Symphony No.1 *for Wind Orchestra*
Arr. 保科 洋

2027
2/28（日）14:00開演（13:30開場）

三田市総合文化センター
郷の音ホール大ホール
〒669-1531 兵庫県三田市天神1-3-1
郷の音ホールチケットセンターTEL：079-559-8101

Ticket（全席自由）
一般 1,500円
高校生以下 1,000円

お願い
※ 就学前のお子様のご同伴・ご入場はご遠慮ください。
※ 公演の内容が一部変更になる場合がございます。予めご了承ください。

新型コロナウィルス感染症の予防対策にご理解・ご協力をお願いいたします。
※ 会場内では「咳エチケット」、適切な手指消毒にご協力ください。

AWE ホームページ　AWE Facebook　AWE Instagram

〔主 催〕アルビレオ ウィンドアンサンブル〔後 援〕三田市教育委員会・三田市吹奏楽連盟・兵庫県吹奏楽連盟

《お問い合せ》アルビレオウィンドアンサンブル事務局 メールアドレス takaotp@yahoo.co.jp ホームページ https://albireo-wind-ensemble.jimdosite.com/

ALBIREO WIND ENSEMBLE *12th* CONCERT

指揮　保科　洋



1960 年、東京芸術大学作曲科卒業。卒業作品にて第 29 回毎日音楽コンクール作曲部門(管弦楽の部)第 1 位を受賞。1963 年、文部省芸術祭奨励賞受賞。東京音楽大学、愛知県立芸術大学を経て、1982 年、国立兵庫教育大学着任。2001 年、同大学を退官。同大学名誉教授となる。

作品は管弦楽曲、オペラ、吹奏楽曲、室内楽曲、合唱曲、ミュージカルなど幅広く、特に吹奏楽では日本を代表する作曲家で、1991 年には日本吹奏楽学会アカデミー賞(作曲者賞)を現存する作曲家では最初に受賞。

作品のいくつかはアメリカでも課題曲に登録されるなど世界各国で演奏され海外でも評価は高い。2008 年には、ホルン協奏曲「巫女の舞」がイタリアのポルチア国際ホルンコンクール本選課題曲に選出。邦人作曲家の作品が管楽器の国際コンクールの本選課題曲に選ばれたのはこれが初めて。

また、2010 年にヤマハ吹奏楽団の委嘱により初演された「復興」は、その後、吹奏楽コンクールでも多数の団体が演奏し、非常に人気の高い作品となっている。

全日本吹奏楽コンクール課題曲として、カンティレーナ(1976 年度)、風紋(1987 年度)、アルビレオ(1998 年度)、インテルメッツォ(2017 年度)が委嘱されている。

指揮活動も「フィルハーモニックウインズ浜松」や「シエナ・ウインドオーケストラ」をはじめ幅広く行っているが、特にアマチュアを対象とした指導法はそのユニークな演奏解釈理論とともに定評があり、岡山大学交響楽団の常任指揮者を 60 年の長きに亘って続け、日本有数の大学オーケストラに育て上げ、2025 年 8 月に「就任 60 周年記念演奏会」が開催された。また客演指揮者としても全国各地の オーケストラや吹奏楽団体で活躍している。2017 年からは、保科洋指揮法クリニックを兵庫県加東市で主催し、全国のスクールバンドや市民音楽団体指揮者にアマチュア演奏団体を指揮するための指揮法の指導を行っている。

このような長年にわたる教育・指導活動が評価され、平成 27(2015)年度秋の叙勲において「瑞宝中綬章」が授与され、平成 28(2016)年度には兵庫県から「文化功労章」が授与された。

2017 年 4 月、脳出血により一時、左半身麻痺になるが、努力と情熱で奇跡的な回復をみせている。

2020 年に「交響曲第 3 番」2022 年に「古風な小組曲」を作曲。2026 年に 90 歳を迎えられたが、その後も「コラール"プラタナス"」(2026 年) など次々と作品を生み出されている。

兵庫教育大学名誉教授、浜松アクト音楽院吹奏楽部音楽監督、フィルハーモニックウインズ浜松音楽監督。

アルビレオ　ウィンドアンサンブル

『アルビレオ』とは、白鳥座の連星(アルビレオ)にヒントを得て作曲された保科洋作品「アルビレオ」に由来しています。吹奏楽演奏において、保科洋氏の著書「エネルギー思考に基づく演奏解釈」の実現をめざし、2013 年 4 月に結成。メンバーは、一般アマチュア演奏家、プロ演奏者、小・中・高等学校の教職員など幅広いメンバーで構成されています。

2013 年 10 月、デビューコンサートとして『加東 2013 音楽の日』にゲスト出演し好評を博した。2014 年からは、定期的に三田市や阪神間などで演奏会を行っています。2016 年、2017 年、2018 年、2022 年には加東市の中学校吹奏楽部の皆さんとの交流演奏会として「アルビレオ ウィンドアンサンブル演奏会 in 東条」を開催。毎年、東条文化会館コスミックホールで開催される「保科洋指揮法クリニック」のモデルバンドを務めています。